

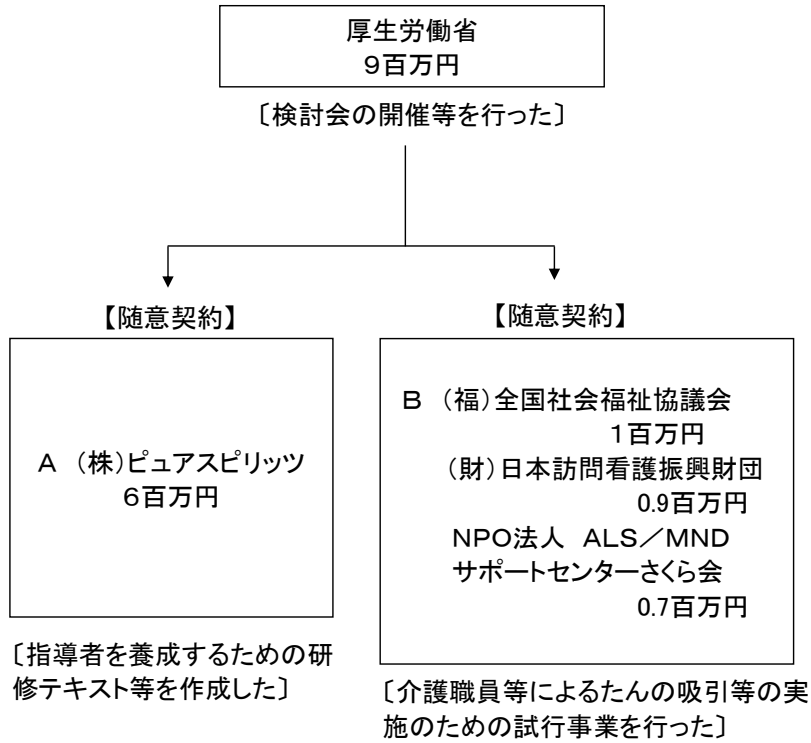
平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	看護職員と介護職員によるケア連携強化研修事業		担当部局	社会・援護局障害保健福祉部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～23年度		担当課室	障害福祉課		土生 栄二	
会計区分	一般会計		施策名	Ⅶ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	介護職員等がたんの吸引等を実施するために受講することが必要な研修(基本研修・実地研修)の講師及び指導者を養成することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県において、たんの吸引や経管栄養を行うことができる介護職員等を養成する研修事業を実施するため、講師や実習指導者となる医師・看護職員に対し、必要な研修を検討・実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算		2	9		
		繰越し等		94			
		計		16			
	執行額			112	9		
	執行率(%)			86.6%	96.1%		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	たんの吸引等の医療的ケアを行うことができる介護職員等については、各自治体において研修ニーズに応じて養成されるものであることから、国で一律の目標は定めていない。		成果実績	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	養成された指導者数		活動実績 (当初見込み)	-	-	3543	-
単位当たりコスト	-		算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成24年4月の法改正に向け、平成23年度中に実施することが必要な事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	平成24年4月から始まる制度であり、国が地方自治体に対し、指導者養成のノウハウを伝達する必要がある。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	企画競争により委託先を選定した。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	受益者は都道府県において指導者となり、制度の円滑な施行に寄与するため、負担関係は妥当である。
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業報告書に添付する経費明細書により、費目・使途が真に必要なものか確認している。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	指導者マニュアル・DVD等を配布・公開することにより、より多くの指導者を養成することができている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	高齢者支援課は不特定多数の者対象、当課は特定の者対象であり、適切な役割分担となっている。
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名 老健局高齢者支援課 介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業(不特定多数の者対象)	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	成果物は都道府県に配布及びホームページ上で公開し、適切に活用されている。
点検結果	平成24年4月の制度開始に向け、より多くの指導者の養成をするため指導者マニュアル・DVD等による研修を実施した。今後も指導者の質を担保するためにも研修事業の実施は必要であるが、事業の円滑な実施のため高齢者支援課と当課で分かれていた予算を平成24年度から福祉基盤課に統一した。		
予算監視・効率化チームの所見			
			—
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
			—
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	1013

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. (株)ピュアスピリッツ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
制作費	テキスト・マニュアル・DVD制作	4.6			
印刷費	テキスト・マニュアル・アンケート等印刷	0.6			
人件費	アンケート集計・分析	0.3			
消費税	消費税	0.3			
諸謝金	検討委員会委員手当	0.07			
計		6	計		0
B. (福)全国社会福祉協議会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	医師直接指導・個別支援計画指導	0.6			
印刷・製本費	事前学習・家族等説明資料印刷・製本	0.23			
保険料	損害保険料	0.05			
消費税	消費税	0.05			
通信運搬費	通信費	0.03			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ピュアスピリッツ	介護職員等に対する研修の講師、指導者を養成するため、指導者用マニュアル及びDVD等の教材を作成する等。	6	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(福)全国社会福祉協議会	障害者(児)施設等の介護職員等や在宅の障害者等の介護を行う介護職員等が、看護職員との連携・協働等の条件の下でケアの試行の検証を行う。	1	随意契約	
2	(財)日本訪問看護進行財	障害者(児)施設等の介護職員等や在宅の障害者等の介護を行う介護職員等が、看護職員との連携・協働等の条件の下でケアの試行の検証を行う。	0.9	随意契約	
3	NPO法人 ALS/MNDサポートセンターさくら会	障害者(児)施設等の介護職員等や在宅の障害者等の介護を行う介護職員等が、看護職員との連携・協働等の条件の下でケアの試行の検証を行う。	0.7	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					